

# 国際政治

146

## 二〇世紀アジア広域史の可能性

日本国際政治学会編

序論 一国史・二国間関係史からアジア広域史へ	松浦正孝
長崎上海間「帝国線」をめぐる多国間交渉と企業特許権の意義	貴志俊彦
日本帝国内の建築に関する物・人・情報の流れ	西澤泰彦
R・M・ブラタープと近代日本のアジア主義	中島岳志
「ヌーラン事件」	鬼丸武士
一九三〇年代の中国と国際通貨システム	城山智子
中国の民間航空政策と対外関係	萩原充
イギリスの対東南アジア文化政策の形成と変容 (一九四二 - 一九六〇)	都丸潤子
「二つの中国」ジレンマ解決への外交枠組み	平川幸子
第五列から資本家へ	相沢伸広
外交資源としての外国人労働者	明石純一

---

### <書評>

飯島渉著 『マラリアと帝国』	後藤春美
羽田正著 『イスラーム世界の創造』	白杵陽
吉武信彦著 『国民投票と欧州統合』	大島美穂

2006年11月刊